夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行印刷人 田原登

常磐線電化促進や重要案件を決議

意義ある大會の幕を閉ず

縣下町村長大會

縣下町村長大会は二十二日午前十時から平市公会堂に関内、松井両代議士、知事代理山口県出納長、諸橋平市長など来賓十数名及び県下の町村長三百七十名を集めて開き武藤事務局長の開会の辞に続いて県町村長会長横山宗延氏の挨拶、夏井村助役大和田喜宗氏外四十六名の優良町村吏員並に自治功労者の表彰、来賓の祝辞があつて後、南会津郡明和村星泰之助、大野村長西山恵一両氏が被表彰者を代表して謝辞を述べ、続いて武藤事務局長から本会役員の異動、主なる事業など細部に亘る会務の報告があり議事に入つて副会長の補欠選挙に移り推せんで二本松町長遊佐一郎氏が就任、細川副会長の宣言に続いて大会の名に於て次の議案が決議され、続いて信夫、安積、会津五郡から提出の積雪寒冷単作地帯振興臨時措置法に伴う国庫補助増額並に五カ年計画を恒久事業計画に改正方要望の件外十四提出事項が審議され、全国町村会顧問、明大政経学部長経済学博士小島憲氏の『英国の地方自治について』と題する講演があつて後祝宴に移り午後二時遊佐新副会長の閉会の辞で意義ある大会の幕を閉じた

（写真は町村長大会）

決議

一、行政事務の再配分を断行し地方自治の確立強化を期する

一、地方財政平衡交付金の増額とその適正配分並に地方債の枠の拡大を期する

一、義務教育施設の完備を期する

一、海外抑留者の引揚促進と戦争犠牲者及び遺家族援護の徹底を期する

一、国民健康保険事業の充実を図り社会保障制度の急速実現を期する

一、治山治水事業の抜本的施策の樹立と災害復旧事業費の全額国庫負担の実現を期する

一、土地改良事業の促進を期する

一、本流案に依る只見川電源の早期開発を期する

一、国有林野の解放を期する

一、東北本線及び常磐線の電化促進を期する

◇愛読者へお[illegible] いわき民報社

本社は常に愛読者の皆様への迅速な報道を念願しておりますが、新聞の配達が遅かつたり休んだりするとの声を時々きゝます。本社としてはまことに遺憾に思いますので万一そのようなことのあつた場合には遠慮なく至急本社へお知らせ下さい皆様に御迷惑のかからないよう即刻改善の手配をいたします

豊間中學竣工

廿三日盛大に落成式

豊間町では薄磯字南街地内に中学校を建築中だつたがこの程竣工したので二十三日午前九時より新校舎で落成式を行う、同校は敷地二千五百七十四坪、建坪五百七十四坪、木造平屋モルタル塗りのモダンなもので普通教室十三、特別教室七、昨年度から二カ年計画で新築中だつたもの、工費は千三百五十八万八千六百三十六円（うち第二期工事六百十五万七千円）請負者は高久村山木屋土建工業部（志賀季三郎氏）同校は今までに見られない程海岸に近い場所へ建築したため県下切つての臨海学校が実現した

新妻教頭轉出

平二高主事に

磐女高教頭新妻熊男氏は今回県立平第二高校主事に転出した、同先生は女子教育に廿二年間奉仕した人で同校から惜しまれている

工務部員募集
一、職種 工務部員見習
一、学歴 今春新制中学校卒業の男子
一、平市内居住者に限る
一、給与その他委細面談
いわき民報社

スタジオ設置確約

關内代議士から朗報

平放送局は関内電通委員長の斡旋に依つて昨年局に昇格し、新設中のアンテナも完成、第二放送も中継開始して地元ラジオファンに大きい貢献をもたらしているが、更に多年の懸案であつた〝スタジオ〟も愈々今年度内に建設することに決定した旨関内代議士から報告があつた

NHKが全国の放送所を整理するに当つて平地区は常磐炭鉱を控え、産業振興上重要である点を強調放送局に昇格することの出来たことは地方文化興隆のために喜ばしいことであつた、スタジオの設置は局に昇格した当時既に約束されていたことであつたが、過般NHKに小松副会長を訪ね、同経理部長等と話し合つた結果、平放送局へスタジオを設けることの確認を得た、従来平地方の放送は福島か郡山の放送局まで出かけねば録音さえ出来ない状態で頗る不便であつたが、スタジオが完成すると時間的に便宜になるばかりでなく、放送文化が急速に発達することになろう、一日も早く着工するよう尚努力を払うつもりだ

天然色幻燈

今晩民報ホールで公開

各地で大好評を博している関内代議士等国会議員のアメリカ視察記録、天然色幻燈会を今晩午後七時から民報ホールで開催致します

この幻燈は日本ではまだ出来ない極彩色の美麗な幻燈でアメリカの主要都市が殆んど記録されて居り、アメリカを知るため子供さん方より大人にとつて非常に参考になるものである

◎…入場無料、多数来場歓迎

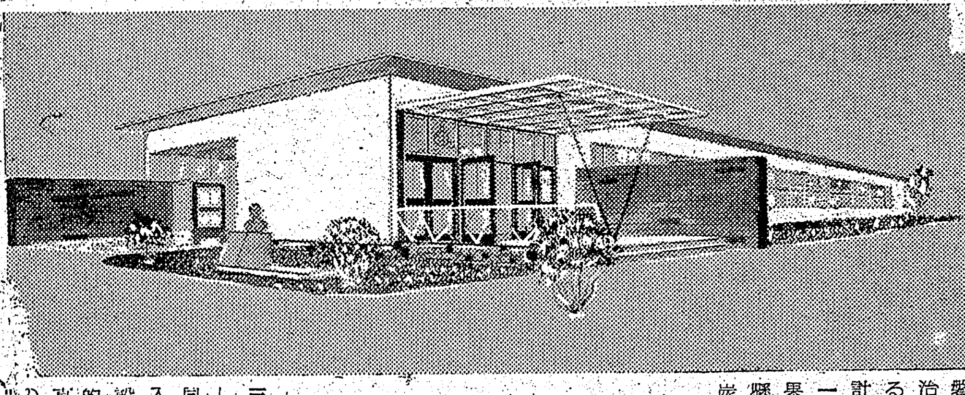
保育協議會

發會式を擧行

石城保育協議会の発会式は二十日午前九時から小名浜町第二保育所に開き県婦人児童課佐藤忠助、安部万友両主事、県社会福祉協議会事務局長永井健二氏等始め県、小名浜、江名、内郷、植田五カ町村から関係者約五十名が出席して協議した結果保育事業の調査研究及び講習会の開催、会員間の連絡並び福祉事業、優良会員及び施設の後援会又は同会員の表彰等の事業目的、そのほか保母会議のうちに音楽リズム観察談話、絵画制作、給食保健衛生の各委員会を設けることに決定役員を次の通り選任した

▼会長水野政次郎（小名浜町長）

▼副会長永崎光孝（江名町隣保館長）



磐高圖書館の設計入選

磐高に小田吉治翁が寄附する図書館の設計を募集し廿一日審査の結果一等一万円懸賞金は古河炭鉱の野木健男氏の手に帰した 二等五千円渡辺行男氏 三等三千円木村芳三郎氏と決定した、それで同校では一等入選を採用建設するが近代的なもの（写真は一等入選の図書館）

小學校長會

役員決る

石城郡下小学校長会は十九日午前十一時より小名浜町第一小学校講堂に約五十名が参集して開催、新年度の予算などを審議、役員を次の通り選任した

▼会長高木長年（小名浜一小）

▼副会長石井定衛（勿来一小）

鈴木誠四郎（湯本一小）

大平コマ刀自

（大平次良本社営業部員母堂）病臥中の処四月二十一日午後八時十分草野村下神谷馬場の自宅で死去、七十四才、告別式は二十三日午後一時より自宅

天気予報

二十二日

【今晩】北西の風やゝ強くよい天気

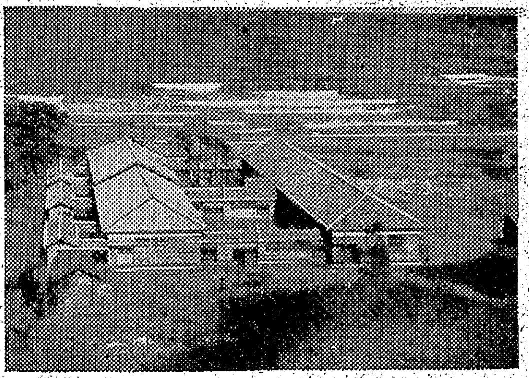
【明日】北西の風日中一時南よりの風となりよい天気、海上今晩は北西の風やゝ強く波立つが明日はおさまる

祝 豊間町立豊間中學校新築落成 4月23日

豊間町役場

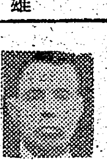
町長 四家健雄
収入役 小野英一郎
吏員一同

豊間町議會
町議会議長 鈴木房次郎
〃副議長 遠藤専
〃総務委員長 遠藤専
〃教育委員長 鈴木勇
〃経済委員長 遠藤幸郎



豊間町立
豊間中學校
校長 荒川栄
教務主任 大和田一郎
外職員一同
PTA会長 小野照道
〃副会長 永山ハナヨ
〃 荒川栄

豊間町立
豊間小學校
校長 小林正人
教務主任 鈴木守矢
PTA会長 鈴木徳
〃副会長 鈴木重四郎

建築工事委員

委員長 遠藤専
副委員長 鈴木源右衛門
〃 永山宗七
常任委員 鈴木勇
〃 山野辺茂重
〃 堀越原賢
委員 鈴木房次郎
〃 遠藤幸一郎
〃 鈴木六助
〃 高木安次郎
〃 遠藤虎吉
〃 箱崎義三
〃 遠藤光一
〃 鈴木道之助
〃 鈴木一馬
〃 大峰敏太郎

前工事委員
小野照道
四家富雄
阪井要吉
比佐辰之助
鈴木市蔵
遠藤亀吉

【工事施行者】
建築請負業
山木屋土建工業部
志賀季三郎
高久村大字下高久
電話三番

工事監督建築士
片岡鶴次

豊間町消防團
團長 志賀重右衛門
副團長 鈴木福太郎
庶務部長 鈴木奥

豊間町農業協同組合
組合長 永山宗七
豊間町豊間字洞
電話四〇番

優良消防表彰

平方部 下

◇県消防協会平支部表彰
無火災表彰 一カ年 内郷町消防団 二カ年 四倉町消防団 八カ年 夏井村消防団
▼功績章 平 上妻久翁 四倉 久保木福之助 永戸 合津弘二 江名 荒木良雄 川前 松本道之助 鹿島 草野道春
▼精勤章 平 山田善臣 鈴木義光 高橋正恵 白土三郎 江尻庄一 若松忠 大塚辰雄 山野辺止夫 佐藤基 酒井重雄 西郡栄枝 大方慶吉 平山正喜 草野年夫 佐藤黛 鈴木武雄
好間 千葉広海 柴野照 猪狩喜重 戸納錦平 大和田孝郎 正木一 斎藤淳 齊藤康男 中村衡治 中堀一郎
永戸 賢輪 吉田利寿 阿部英夫 青木俊光 佐藤政雄 高萩延男 合津春男
内郷 鈴木正晴 加藤孟夫 遠藤利兵衛 遠藤一与 小林金次郎 草野正夫 丹等 吉田政信 酒寄正道 鈴木英雄 小山喜一郎 山崎健一 野木照作 小野春男
赤井 薬谷正巳 羽賀仁平 松崎政利 鈴木覚 船生一
小川 新妻英高 草野春一 高木藤明 富谷汎 草野浩
川前 志賀四郎 矢内武美 吉田克巳 草野武雄
三阪沢渡 田子良平 平山盛丁 草野正男 佐藤義房 鹿内茂也 加藤重治
夏井 渡辺寿男 阿部義長 木田甚右衛門 山名伝
高久 矢吹信夫 矢吹喜三郎 大谷清司 阿部止男 野口福寿
豊間 松井良英 鈴木弘一 鈴木熊雄 鈴木丑次郎
鹿島 四家義正 草野好文 稲崎久右衛門
江名 秋山寛一郎 秋山照治 加藤止志 金成権三郎 馬目喜一 加沢慶太郎 佐藤良江 鈴木善也 佐藤田松 大滝和夫
四倉 遠藤貞光 菅波民弥 鈴木松男 鈴木幸平
草野 大平操一 片寄源平 菅波茂雄 星野喜一 吉田庄太郎 青木紀
大浦 新妻秀 片寄定治 酒井直義 賀沢幸平 大楽安次
大野 横山伊平 後藤民雄 宮本三助 渡辺一 村上一恵 鈴木幸栄 木田武 長谷川政義
湯本 戸倉重祐 飯渕繁三郎 高野光 鈴木隆一 駒木茂
泉 吉田良司 上遠野満 江尻源貴 志賀止一 佐藤之也 吉田安治 吉田一二
小名浜 馬上守 鈴木正志 石井新祐 松本秀一 片寄繁蔵 齊藤正安
鹿島 四家重幸 四家二三男

上遠野村の春季検閲

上遠野村消防団では十九日午前十時より同地小学校々庭で春季点検式を挙行後荒川消防長の講評優良団員の表彰来賓の祝辞常盤団長の答辞があつて解散した、被表彰者は左の通り
韮田孝 生田目倍作 山崎一男 室井重興 荒川武雄 ほかに防火に協力遠藤楠寿 鈴木タツ（ポンプ置場敷地提供）
なお同団では百十五万円を投じ栃木県田沼日本造機会社より二十七馬力の優秀な自動車ポンプ一台を購入此の日放水試験を行つた

四倉方部の連合検閲式

受賞者決る

四倉方部の二十七年度春季連合検閲式は来る二十三日午前九時から管内四倉、大野、大浦、草野の一町三村の消防団員を集め四倉町中学校校庭で開くが二十七年度表彰者は一団体、個人三十四名で受賞者は次の通り
▼日本消防協会表彰▼精勤賞 佐久間忠一（草野）▼永年勤続賞 四倉町＝遠藤定光氏外五名 大浦村＝岡田広三郎氏外一名 草野村＝佐久間忠一氏外四名
▼県消防協会平支部表彰▼団体 四倉町消防団（二カ年無火災）
▼功績賞久保木福之助（四倉）
▼精勤賞 四倉町＝遠藤貞光氏外三名 草野村＝大平操一氏外五名 大浦村＝新妻秀氏外四名 大野村＝横山伊平氏外七名

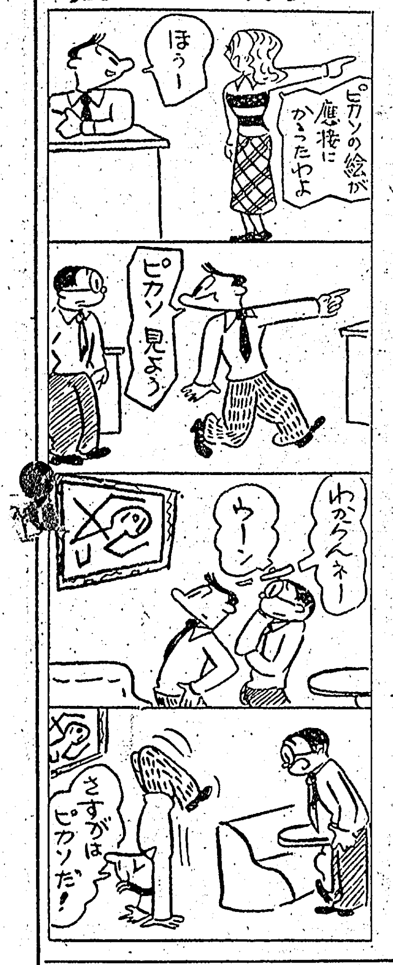
矢郷氏に同情の空氣濃厚

出席二百 賑つた聴問會

矢郷炭鉱問題の聴問会は二十一日午後一時半から平市公会堂本館（東部石炭会館を変更）に東部石炭協会、東部鉱連、県炭協、磐炭労日鉱常連など共催で開催、炭鉱主労働者、石炭事務所、関係町村代表並びに地元一般約二百名が参集座長に東部石炭協会専務理事長岡孝氏が推され先ず当事者矢郷倉蔵氏、従業員代表の経過報告（鉱業権者川合昇氏は欠席のため省略）次ぎに平石炭事務所福士総務課長から本問題に対する見解が述べられたが菅本内郷町会議長、小野湯本町副議長らから『係争中の問題で当事者を出席させて行う聴問会は人民裁判となる恐れがあり、問題に就いては主催者が説明し意見を求めるべきで矢郷氏の退場を願つてはどうか』との批判意見が出されたので長岡座長は『本聴問会は問題解決の糸口をみつけ、すみやかに円滑な石炭生産をあげ得るようにするのが主旨である』点を明確にし、矢郷氏直接の話も聴きたいとの声もあつたが当事者一方だけの出席だけでもある関係事情に明るい東部鉱連専務理事松本栄一氏が説明することになつて矢郷氏は退場、各界からそれぞれ大要次の様な意見の開陳があつたが、不在地主的な鉱業権者が租鉱権問題をめぐつて経営者を始め関係外の従業員まで塗炭の苦しみにあわすといつた現鉱業法の盲点をつき早急に事業継続出来る様裁判所並びに関係方面に対し炭鉱主、労働組合、市町村会、地元一般など参集者の決議として要望することになり午後四時、熱心な同聴問会の幕を閉じた

〇…本問題の経過に就き松本専務から『矢郷炭鉱（経営者矢郷倉蔵氏）は昭和十一年、鉱業権者川合昇氏との間に代理掘の契約で採掘して来たが終戦後から昭和二十四年七月までの間にその組合は平事件の本拠ともなつた共産党に支配され生産低下で大損害をこうむり川合氏と同意の上で閉山、二十五年二月再開したがその後炭況にめぐまれ月産千トンとなつた、その間二十五年夏頃から矢郷個人に租鉱権設定（改正鉱業法では租鉱権なければ採炭出来ない）のことで川合氏と意見の一致をみたが炭鉱景気から名儀は川合とする、設備した諸機械も川合名儀にすること、租鉱料は売炭代の五分乃至一割、動乱景気による利益金を出せ、契約期間は一カ年等と難題をふきかけて矢郷氏を困らせて来たが、二十六年五月ごろ内容証明で採掘禁止を迫つた、矢郷氏は従業員もいるので承知せずにいたがこれを盗掘としてトン当り千円の利益があるとしてこれを返済せよと迫り支払わねば租鉱権設定しないとの態度に出て現在に至つた』と問題のアワトラインに就き説明

〇…これに対し鳳城炭鉱菊地氏から『行政官庁が八年間も斥先掘りを認めていたことはおかしい、採掘権は国家が附与したものだから問題の起る前に行政官庁の監視が大切だと思う、従業員が経営者間の問題で失業させない様にしたい』と法律的見解から意見をのべ蒲生炭鉱蒲生氏は『炭鉱経営は長年月と設備が必要だ、今になつて租鉱権設定してないからやめろでは可愛そうだ、権力や金力で支配される行政なら社会的にゆるされるものでない、監督官庁は単なる監督でなくもつと立入つて事の善悪を指摘し指導すべきだと思う』と述べ日鉱常連早場事務局長は『経営者間のいざこざで従業員が生活難に陥るというのは一世紀前の制度でこんな馬か気たことのない様にしてもらいたい』等々これに同調する組合代表の意見や一般から矢郷氏に同情する意見が強く結局、矢郷氏の企業意欲の強い点、一日も早く仕事を始め得るようこの問題を契機に正しい鉱業法たらしめるべく関係方面に出席者各界の要望として強く運動することになつた（写真は聴問会風景）


ヘマさん
523
中島安男
ほう－
ピカソの絵が應接にかつたわよ
ピカソ見よう
わからんネー
ウーン
さすがはピカソだ！

祝賀行事決る

湯本一小 八十周年

湯本第一小学校創立八十周年記念式典は二十三、四の両日盛大に開催されるが祝典祝賀行事は次の通り決定した
◇二十三日午前の部▼祝典祝賀式▼十五年職員勤続者表彰海老根カツ▼永年使丁勤続者表彰遠藤信次、タケ夫妻▼功労者表彰矢吹荘司、渡辺長作、鯨岡一馬（以上前町長）成田滝爽、深沢定、柳沼信実、篠原保治、前川三省、藤田貞男（以上前校長）日野利脊、鈴木康平（以上前PTA会長）▼八カ年職員勤続者表彰遠藤スイ、小野五郎、高崎キヌ、川島キン、小泉義江
◇午後の部▼校歌ピアノ音楽会▼父兄の校歌練習会（特別出演湯高教諭若松紀志子ピアノ独奏国立音楽学校二年生石川濟ソプラノ独唱）▼作曲家岡本敏明先生を囲む音楽指導研究会
◇二十四日午前の部▼七十才以上老齢者二百名を招き慰安音楽会▼児童演芸会（特別出演ピアノ若松紀志子、ヴアイオリン医博織内平八）
◇午後の部▼図画習字展覧会

反物百七十反盗む

大泥棒小名濱で擧る

小名浜地区署では去る十三日午前三時ごろ小名浜町本町一二六黒屋小名浜支店から衣類四十点（六万円相当）を盗んで十六日捕まつた青森市長島四八住居不定無職横山丑松（二九）を検事勾留に切替え余罪追及中の結果、二十日夜に至つて昨年一月十五日青森県野辺地町上中野二九衣類商出中栄次郎さん方から錠前をはずして侵入銘仙など百八十反（七十万円相当）を盗み指名手配中であつたことが判り身柄を留置余罪取調中である

ハイヤー衝突

馬の足折る

二十日午後五時五十分ごろ草野村下神谷字内宿地内国道で同字立場農業作田実さん（五二）が木材を満載した荷馬車を国道の右側に停車させて居たところ前方から来た平市田町平合同タクシーのハイヤー＝運転手鈴木晃弘君（二九）＝の物音に驚き馬が疾走してハイヤーに衝突馬は右前足後両脚を骨折した、ハイヤーの乗客には被害がなかつた

酔漢大暴れ

却つて殴らる

湯本町水野谷字錦沢一五〇家畜商小島仙吉（三〇）は二十日午後五時半ごろ酔つぱらつて些細なことから隣家の古物商正木敏彦（三七）方に暴れこみ家財道具を叩きこわし憤がいした正木に頭を棒で撲られ全治十日間の傷害を受け両人とも現行犯で湯本地区署に捕まつた

ラジオ

JOCP JOHQ ローカル 平放送（23日）
前七・一五 ラジオ商工だより『貨物と共に三十五年』福島県トラック協会松原喜明
後五・三五 子供の時間『ラジオ童話』福島放送劇団
後六・三〇 希望探訪
後九・一五 ラジオ座談会『会津の文化を語る』

國税滞納差押物件 公賣公告

一、公賣方法 入札又は競賣
一、物件 ▽漁業財團一件▽宅地一件▽家屋十六棟▽電話加入權四件▽機械類七件▽家具その他
一、日時 四月二十五日午前十時
一、場所 平税務署

平税務署

御覧になりましたか ケースを 長橋町の 電平689 吉村

小鳥と飼料は… 橋本小鳥店 平市公会堂前

通學服は あかや

東北酒界王座 爛漫

中華料理 日本料理 天ぷら トンカツ 中町通 東竜軒 電1136

連合軍放出 市価の1/2〜1/5 払下げ家具 完全修理済
4月23日より26日まで 於平市公会堂

家庭向		官廳會社向	
整理タンス	2500円より	小椅子	500円より
台所机	800円〃	廻転椅子	1300円〃
じゆうたん	1500円〃	事務机	2500円〃
電気スタンド	150円〃	脇机	1200円〃
カーテン	50円〃	応接セツト	6000円〃
扇風機	4000円〃	キヤビネツト	3000円〃
洋服タンス	2500円〃		

その他ダブルベツド 電気掃除器 慰日除など取揃え
日本橋 ふとん・かや 西川 仙台支店 TEL.5977

特製 中華そば 出前迅速 ブラジル

愛知 パチンコなら愛知式 平市田町七四 電三八（元磐城女学校跡） 愛知パチンコ駐在員連絡所

ひばり遊技機 豫約募集致します ダブル10-20 15-30 20-40 【乞御来所】

耳鼻科 咽喉科 看護婦見習 募集 高柳醫院 高柳博明 平駅前（電一二一）

寿司通の北富

肛門科 外科 上田醫院 平市南町（平局裏通） 電話一二九番

酒蔵 しらぎく 田町 電五四